

## S23 悪性腫瘍に対する高気圧酸素の併用治療 —治療経験例の紹介—

灘吉進也<sup>1)</sup> 今林和馬<sup>1)</sup> 松野太一<sup>1)</sup>  
下河辺 正行<sup>2)</sup> 今田 肇<sup>3)</sup> 森岡文明<sup>3)</sup>  
大栗隆行<sup>3)</sup> 興梠征典<sup>3)</sup> 成定宏之<sup>4)</sup> 大田 真<sup>5)</sup>

- |                    |
|--------------------|
| 1) 共愛会 戸畑共立病院臨床工学科 |
| 2) 同 内科            |
| 3) 産業医科大学放射線科      |
| 4) 共愛会 戸畑診療所放射線科   |
| 5) 同 臨床工学科         |

【はじめに】我々は、悪性腫瘍の集学的治療の一環として高気圧酸素(HBO)治療を行ってきたので、これまでの治療経験を紹介する。

【対象・方法】当施設にて2003年7月から2006年7月までにHBO治療を併用した悪性腫瘍の207例を対象とした。

その内訳は肺癌48例、直腸癌26例、膵癌24例、食道癌16例、肝臓癌15例、胃癌15例、大腸癌14例、乳癌9例、その他40例であった。我々は、温熱化学療法の増感目的(CBDCA, CPT-11などの化学療法剤を投与して、同時に電磁波温熱療法ThermotronRF-8を行い、その後にHBO治療を行う方法を週に1~2回繰り返す)、放射線治療の増感目的(HBO治療の直後にサイバーナイフを連日行う)、さらに放射線治療の副作用防止目的(放射線治療後に連日のHBO治療を行う)などでHBO治療を併用してきた。

【結果・考察】温熱化学療法の増感目的に対して201例1842回、放射線治療の増感目的では9例101回、放射線治療の副作用防止目的に対して33例542回のHBO治療を行った。温熱化学療法の増感目的では、多くの症例で高い局所効果が得られたことから、この併用療法の有効性が高いことが示唆された。放射線治療の増感目的では、症例が少数例にとどまり、単体の治療効果の検討が不十分であった。また、放射線治療の副作用防止目的ではHBO治療による抑制可能な症例が多く、疼痛緩和、全身状態の安定など高齢者および全身状態が不良な症例でQOLの保持に有用であると考えられた。今後、更に症例を重ね癌の種類、薬剤の種類などの関連性を検討し、悪性腫瘍に対するHBO治療の集学的治療における有効性を実証していく予定である。

## S24 非小細胞肺癌に対する温熱化学療法への 高気圧酸素治療の効果についての検討

灘吉進也<sup>1)</sup> 今林和馬<sup>1)</sup> 松野太一<sup>1)</sup> 下河辺正行<sup>2)</sup>  
今田 肇<sup>3)</sup> 森岡文明<sup>3)</sup> 大栗隆行<sup>3)</sup>  
興梠征典<sup>3)</sup> 成定宏之<sup>4)</sup> 大田 真<sup>5)</sup>

- |                    |
|--------------------|
| 1) 共愛会 戸畑共立病院臨床工学科 |
| 2) 同 内科            |
| 3) 産業医科大学放射線科      |
| 4) 共愛会 戸畑診療所放射線科   |
| 5) 同 臨床工学科         |

【目的】我々は、主に再発例や遠隔転移を有する非小細胞性肺癌に対して、PAC+CBDCAによる温熱化学療法を施行し、高い奏効率が得られることを報告してきた。一方、高気圧酸素(HBO)治療は、化学療法剤の増感作用があることが知られている。今回、非小細胞肺癌に対するPAC+CBDCAによる温熱化学療法へのHBO治療併用の効果を検討したので報告する。

【対象と方法】2003年7月以降に温熱化学療法を受けた非小細胞肺癌患者のうち、温熱化学療法を2コース以上施行したか、温熱化学放射線治療を完遂したもの、3ヶ月後の画像診断が可能であった21名を対象とした。化学療法は、PAC+CBDCAを通常使用される容量の50-70%程度に減量して使用し、平均5コース施行した。電磁波温熱治療は、ThermotronRF-8を使用し、化学療法と同時に週1回(時間40-50分)施行した。放射線治療は8例で併用された。また、化学療法の加温部位以外の増感目的でHBO治療(2気圧60分)を14例に併用した。

【結果】局所の奏効率は15/20(75%)と高い効果が得られた。HBO治療併用群では、13/15(86.7%)、非併用群では2/5(40%)とHBO治療併用群で非常に良好な値が得られた。

【結論】化学療法の対象となる非小細胞肺癌に温熱療法とHBO治療を併用することで、高い局所効果を得ることができ、同時に使用薬剤の減量による化学療法による患者のQOL低下を抑制できることが期待できると考えられた。